

平成17年度 事務事業評価表						
記入年月日	平成17年4月28日		記入者		内線	5182
部 名	学校教育部	課 名	指導課	課長名	小塚牧夫	
事務事業名	教育委員会(学校教育部)職場研修費					
予算上の事務事業名	教育委員会(学校教育部)職場研修費					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	14120		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして					
政 策 名	第4章 人間性豊かな子どもを育成します					
基本施策名	第1節 ゆとりある学校教育の創造				事業開始年度	
施 策 名	第2施策 小・中学校教育の充実				昭和63年以前	▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	地方公務員法第39条					
3 個別計画の概要	概要					
計画名						
計画年次		年度～		年度		
4 事業形態の区分	研修・講座 ▼					
5 事業概要						
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)					(2) 対象(誰、何)	
職員一人ひとりの一層の資質向上及び能力開発をするため、職員の人材育成を積極的に推進するもの。					職員	
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
職場専門研修	2件	2日	26人			
専門派遣研修	8件	17日	8人			
視察派遣研修	1件	1日	13人			
6 関連・類似事業や他市の状況	市内各部署単位で実施					
7 事業費の推移	[単位:千円]					
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業費	159	192	202	178	178	
一般財源	159	192	202	178	178	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	9	9	9	9	9	
事業コスト合計(a)	168	201	211	187	187	
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)						
主たる事業名	教育委員会(学校教育部)職場研修費			対象名称(単位)	受講者(人)	
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業コスト(主たる事業)	168	201	211	187	187	
対象数	31	30	40	21	21	
単位あたり経費(円)	5,419	6,700	5,275	8,905	8,905	
前年度比		1.24	0.79	1.69	1.00	

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化						
指標名 (単位)	職員研修開催数		指標式と指標の説明	研修実施件数/研修予定件数		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)	
実績	12.0	10.0	11.0			
目標	12.0	12.0	9.0	9.0	9.0	
目標達成度	1.00	0.83	1.22			
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標						
指標名 (単位)	職員受講修了者の率		指標式と指標の説明	受講修了者数/研修対象者数		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)	
実績	31.0	30.0	40.0			
目標	73.0	78.0	21.0	21.0	21.0	
目標達成度	42.5	38.5	190.5			
11 個別評価						
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】						
B	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。				
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。				
	<input type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。				
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】						
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。				
	<input type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。				
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】						
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。				
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。				
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】						
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。				
12 総合評価						
(1) 自動判定結果						
	〔 〕：良好な状態を維持する事業					
	〔 〕：概ね良好な状況である事業					
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業					
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業					
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明			
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実		職員の専門性向上のため、現在実施予定の研修はもちろん、今後は費用を要しない研修を計画するなどしてより職員の育成を図る		
	<input type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 職場研修を年度計画にそって実施する。			14 課題として認識されたこと 事業費を伴わずに実施する研修を計画する。			
15 二次評価						
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント			
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		人材育成につながる事業の実施に努める。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				